

はじめに

岡山県では、がん（悪性新生物）による死亡が昭和57年に死亡原因の第1位となり、以後も増加しています。平成18年の死亡数は5,097人にのぼり、全死亡数の27.8%を占めています。

昨年6月に公布されたがん対策基本法において、「国及び地方公共団体は、がん患者のがんの罹患、転帰その他の状況を把握し、分析するための取組を支援するために必要な施策を講ずるものとする。」と定められ、また、本年6月に策定された「がん対策推進基本計画」では、重点的に取り組むべき課題として「がん登録の推進」が掲げられています。がん対策の総合的な推進のためには、死亡情報だけでなく、がんの罹患状況、受療状況、生存状況等の情報を収集・分析することが必要です。岡山県では、平成4年から、これらの業務を社団法人岡山県医師会に委託して「岡山県がん登録事業」として実施しており、平成8年からは登録の対象を全てのがんに拡げ、がん全体の動向把握に努めています。

この報告書は、平成15年1月から12月までの罹患状況等について集計と分析を行ったものです。また9部位のがん登録患者の「5年相対生存率」（今回は平成12年1月から12月までに診断されたもの）についてのデータも掲載しています。

本書が、がん予防、医療活動の評価や疫学研究など、関係各方面の方々によって幅広く活用され、がん対策推進の一助となれば幸いです。

最後に、本書のとりまとめにあたり多大な御協力をいただきました岡山県医師会をはじめ、各医療機関並びに関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、継続的なデータの蓄積によって本事業がさらに充実したものとなりますよう一層の御理解と御協力をお願いいたします。

平成19年10月

岡山県保健福祉部長

田原克志